

# オリンパスグローバルプライバシー方針

## 目次

|                                          |   |
|------------------------------------------|---|
| 第1章 総則.....                              | 1 |
| 第1条: 目的 .....                            | 1 |
| 第2条: 当社のコアバリューの実践 .....                  | 1 |
| 第2章 オリンパスプライバシールール .....                 | 1 |
| 第3条: 個人情報の概要 .....                       | 1 |
| 第4条: オリンパスプライバシー規則の理解 .....              | 2 |
| 第5条: オリンパスプライバシー規則の実践 .....              | 3 |
| 第6条: コンプライアンス違反の影響.....                  | 3 |
| 第3章 データライフサイクルにおけるオリンパスプライバシー規則の適用 ..... | 4 |
| 第7条: 計画 .....                            | 4 |
| 第8条: 収集 .....                            | 5 |
| 第9条: 利用 .....                            | 5 |
| 第10条: 保管 .....                           | 5 |
| 第11条: 二次利用 .....                         | 6 |
| 第12条: 共有 .....                           | 6 |
| 第13条: 取り扱いの終了 .....                      | 7 |

## 第1章 総則

### 第1条: 目的

本グローバルプライバシー方針は、グローバル行動規範に定められた個人のプライバシーと個人情報の保護に対するコミットメントを、より具体化したものである。本書は、オリンパスの全員がとるべき行動を明確で簡潔に記載したものである。

オリンパスは、個人のプライバシーの保護および個人情報の保護に取り組んでおり、このような情報の保護において全従業員が積極的な役割を果たすことを期待されている。

本グローバルプライバシー方針では、第2章にてオリンパスプライバシールールを定義している。これは、本方針を遵守し、個人のプライバシーを保護するために、社内の全員が従うべき具体的なルールである。

### 第2条: 当社のコアバリューの実践

オリンパスでは、個人情報の取り扱い方法を含め、私たちのすべての行動を通じて、当社のコアバリューの実践に取り組んでいる。

オリンパスプライバシールールは、当社の以下の価値観に取り組むうえでの極めて重要な要素となる。

#### 患者さん第一

私たちは、細心の注意を払って患者さんの個人情報を取り扱います。最高水準のプライバシー水準を適用することで、私たちのお客さまや患者さんの信頼を獲得します。

#### 誠実

プライバシーの実践と個人情報の保護は、私たちにとって妥協できないことです。私たちは、十分なコンプライアンスを確保するだけでなく、お客さまや患者さんが期待する最高水準のプライバシー水準を適用します。

#### イノベーション

個人情報は、私たちのイノベーションの原動力です。私たちは、私たちの製品やサービスの改善のために個人情報を収集、利用します。プライバシーは、私たちの競争優位となります。

#### 実行実現

私たちは、私たちが取り扱う個人情報の説明責任を果たします。私たちは、私たちの全てのプロセスにおいて、効率化とプライバシーの組み込みに努めます。

#### 共感

オリンパスプライバシールールは、利害関係者のプライバシー権利をビジネス活動、製品及びサービスの企画の初期段階から反映させるように支援する。

## 第2章 オリンパスプライバシールール

### 第3条: 個人情報の概要

個人情報とは、個人を特定または個人の内面や外見的特徴を詳細に説明することができるあらゆる情報を指す。

個人情報の保護は、個人のプライバシーの権利保護に関わるため、私たちの重要な責務となる。

以下は、個人情報の性質を持つデータの種類の例である。

#### **お客さま情報**

お客さま情報には、たとえば、氏名、住所、連絡先情報、支払情報など、購入や保証登録の過程で収集したデータが含まれる。

#### **従業員情報**

従業員情報には、たとえば、人事記録、給与記録、さらに評価や職務に関連する情報が含まれる。

#### **取引関係者情報**

取引関係者情報には、たとえば、当社の取引先との財務上および契約などに関する情報が含まれる。

#### **患者さん情報**

患者さん情報には、たとえば、診断と治療に関する医療記録や情報が含まれる。

#### **財務情報**

財務情報には、たとえば、支払い処理や口座管理に使用される情報が含まれる。

### **第4条: オリンパスプライバシーールールの理解**

オリンパスプライバシーールールは、オリンパスにおける個人情報保護の最低限のレベルを定義する一連の基本的なルールである。

オリンパスの全従業員は、以下7つの段階を含むデータのライフサイクルモデルを通じ、以下のルールに従うものとする。

#### **1) 計画**

この段階では、どのような個人情報を、どのような目的で必要とするかを特定する。個人情報の収集、利用、保管、および削除の方法について計画する。

#### **2) 収集**

この段階では、まず、調査、入力フォーム、センサーなどの様々な方法により、必要な個人情報を収集する。

#### **3) 利用**

収集後は、計画の段階で決定した特定の目的のために、個人情報を利用する。

#### **4) 保管**

この段階では、データの機密性、完全性、および可用性を確保するために、安全で体系化された方法でデータを保管する。

#### **5) 二次利用**

引き続きデータを利活用できる場合、最初に特定した目的と関連して利用される場合にのみ、別

の目的に利用することができる。

#### 6) 共有

個人情報を第三者と共有する場合、個人のプライバシーを保護し、説明責任を示せる契約するなどの方法で行う必要がある。

#### 7) 取り扱いの終了

個人情報が不要となった場合、以後、個人情報がアクセスされ、または利用されないように、安全かつ完全な方法で削除しなければならない。

### 第5条: オリンパスプライバシーールールの実践

日々の業務でオリンパスプライバシーールールを実践し、誠実さ、共感性、および結束を持って個人情報を保護するための4つのベストプラクティスを以下に挙げる。

#### オリンパスプライバシーールールの十分な理解

オリンパスプライバシーールールの必ず従うべき内容を十分理解し、個人情報を保護することの重要性を理解する。データライフサイクルの各段階でルールを効果的に実践するために、ルールに目を通し、いつでもすぐに参照できるように手元に置いておく。

#### 自分の立場を知り、行動を起こす

オリンパスプライバシーールールが自分の役割と業務にどのように適用されるかを考え、それを実践する機会を求める。たとえば、どのように同意を得るのか、個人情報へのアクセスを制限するのか、また、データが不要となった場合に確実に安全に削除されることの確保などを考慮する。

#### 不明点がある場合は専門家に質問する

従業員は、従来よりも簡単に専門家のサポートを受けられるようになっている。オリンパスプライバシーールールを業務に適用する方法に不明な点がある場合や、特定のルールについて質問がある場合は、問い合わせフォームを使用するか、電子メールで連絡するか、あるいはその他の手段を利用して、プライバシーチームに連絡をする。従業員は、質問をする、更新を提案する、データ違反を報告する、あるいは全般的なフィードバックをすることができる。

#### チームワークで素晴らしい仕事を実現する

私たちはプライバシーに関して結束している。私たちは連携することにより、常に個人のプライバシーの権利を尊重した方法で個人情報を取り扱いしていることを保証する。社内の全員がお互いにオリンパスプライバシーールールを明確に理解し、日々の業務にどのように適用できるかを確認するためには、プライバシートレーニングに参加することも非常に重要となる。

### 第6条: コンプライアンス違反の影響

オリンパスプライバシーールールに従わなかった場合、本人だけでなく、オリンパスやオリンパスの利害関係者にも深刻な影響を与える可能性がある。

考えられる結果のいくつかを以下に示す。

#### 信頼の喪失

オリンパスプライバシーールールに違反することにより、お客さまや社会的な信頼を失う可能性がある。これは、当社の評判を損ない、利害関係者との関係性を維持することが困難となる。

#### 個人情報の侵害

プライバシー侵害により個人情報への不正アクセスが発生した場合、それは個人情報の侵害につ

ながら、本人に損害を与える可能性がある。また、オリンパスに通知義務やその他の法的、財産的な影響が生じる可能性もある。

#### **法的罰則**

また、オリンパスプライバシーールールの違反が法律に違反する場合、罰金や損害賠償請求につながる可能性がある。これは企業にとって大きな財務的損失となる可能性がある。

#### **解雇**

オリンパスプライバシーールールの違反をした従業員に対しては、教育、解雇などの是正措置が講じられる場合がある。

### **第3章 データライフサイクルにおけるオリンパスプライバシーールールの適用**

#### **第7条: 計画**

計画は、プライバシーを考慮したあらゆるデータの取り扱いと利用の基盤となる。自分のプロジェクトまたはプロセスにおいて、プライバシーに関する重要な側面を最初から確立しておくことが必要不可欠となる。

事業における最低限の個人情報戦略を確立させるために、以下のオリンパスプライバシーールールについて熟考する。

#### **コラボレーション**

個人情報の利用を計画する際には、プライバシーチームと協力し、個人情報が確実に適切な方法で取り扱いされるように確保する。プライバシーチームが、すべてのオリンパスプライバシーールールを実践できるようにサポートする。

#### **責任**

説明責任と透明性を確保するために、個人情報の取り扱いに関する責任を明確にする。必要に応じて、他のチームや部署との調整を行う。明確にされた責任を文書化する。

#### **合法性**

目的とする個人情報の取り扱いがすべての適用法の下で許容されることを確認する。

#### **最小化**

特定の目的を遂行するために必要な最小限の個人情報を決定し、その個人情報のみを収集するように計画する。

#### **評価とリスク軽減**

個人情報の取り扱いに関連し、個人に対する潜在的なプライバシーリスクを評価する。これらのプライバシーリスクを軽減するための対策を決定して、プライバシーの権利の保護を確保する。

#### **アクセス管理**

役割ベースのアクセス管理を決定し、実践する。個人情報を知る必要がある人のみアクセスを基本として、アクセスを許可する。

#### **国際転送する場合の安全措置**

個人情報を他の国や地域の第三者に転送する場合の必要な安全措置を確立し、第三者との適切な契約などを締結する。

## 第8条: 収集

個人情報の収集は、データライフサイクルにおいて非常に重要なステップであり、個人のプライバシーと権利を尊重した方法で行わなければならない。

データライフサイクルを適切に開始できるように、該当するオリンパスプライバシールールに従う。

### 目的

意図した目的に必要な個人情報のみを収集する。データは特定の目的にのみ利用する。その後の利用においても、特定した利用目的との合理的に関連性があることを確保する。

### 透明性

取り扱いされる個人情報の種類、目的、個人の権利などの詳細を、本人に明確に伝える。

### 品質

収集した個人情報の正確性と完全性を確保するために、個人情報収集時には個人情報の品質を評価し、保証する。

## 第9条: 利用

個人情報の利用は、プライバシーと事業の基盤となっている状況を結びつけるものであり、個人の権利を確実に保護するために慎重な配慮が必要となる。

個人情報の利用の責任を確実にするために、各オリンパスプライバシールールに従う。

### 目的

個人情報の利用は、当初の収集の目的および合理的に関連性のある目的にのみに限る。業務に個人情報の利用を伴う場合は、自分の業務内容と責任、既存の SOP および / または専用の作業指示書の範囲内に留める。

### セキュリティ

不正なアクセス、利用、または開示から個人情報を保護するために、秘密情報の区分に応じたルールおよびセキュリティ方針を遵守する。整理整頓された作業環境の維持、作業環境を他の人による視察から保護するなど、プライバシーリスクを軽減する対策を講じる。

### アクセス管理

個人情報を取扱う権限のある者のみが個人情報にアクセスできるようにし、説明責任を果たすために、取扱者レベル、役割レベル、およびタイムスタンプレベルごとに利用状況を記録する。秘密情報の区分に応じたルールおよび関連する取り扱いの義務と慣行に従う。

### 正確性

捏造や改ざんを行うことなく、収集されたままのデータを利用することで、データの正確性、完全性、および品質を維持する。

### 暗号化

暗号化などの適切な対策を講じて、個人のプライバシーへの影響を軽減する。

## 第10条: 保管

個人情報の保管は、多くの事業活動にとって重要な側面であり、安全かつ責任ある方法で行わな

ければならない。

保管されている個人情報の保護については、オリンパスプライバシールールに従う。

#### **セキュリティ**

データを不正なアクセス、利用、または開示から保護するために、個人情報は該当するセキュリティ方針に従って保管する。

#### **本人によるデータ削除要求**

特定の個人に関連するデータを発見できる方法でデータを保管し、要求があった場合、あらゆる個人情報を削除する。

#### **高度な技術**

特に機密性の高い個人情報の場合、最適なデータセキュリティを確保できるように、適宜より高度な暗号化や保管方法を適用するなどの高度な保管技術を適用する。

#### **期間の制限とデータの削除**

個人情報の保管は、当初の目的のために必要となる期間に限る。

### **第11条: 二次利用**

個人情報の二次利用は、多くの事業活動にとって重要な部分であり、その過程で個人のプライバシーが侵害されないようにすることが極めて重要となる。

二次利用をする際は、オリンパスプライバシールールに従う。

#### **当初の目的**

データの二次利用が当初の目的や本人との利用規約などに含まれていることを確認する。その利用が適用される法律の下で許容されることを確認し、確認の結果を文書化する。

#### **透明性**

目的とする個人情報の新たな利用方法について、その本人の理解を得るために知らせるべきかどうかを評価する。知らせる必要がある場合は、必要なアクションを計画し、実行する。

#### **正確性**

二次利用する個人情報が正確で正しいことを確認する。

#### **必要性**

二次利用が必要か、利用目的に適切かどうかを検討する。

### **第12条: 共有**

個人情報の共有は、個人のプライバシーの権利を損なうリスクを伴うため、より慎重な配慮が必要となる。

責任あるデータ共有を確保するために、オリンパスプライバシールールに従う。

#### **品質**

第三者による利用時も含め、データのライフサイクル全体を通じて個人情報の正確性と品質を確保する。

#### **透明性**

個人情報を受領する第三者には、プライバシーノーティスを開示して、透明性と説明責任を促進する。

### **個人情報の取り扱いの委託先**

個人情報の取り扱いの委託先の選定結果の文書化、監督をするための、適切な契約、定期的な取り扱い状況の把握を行う。

### **目的と合法性**

特に個人情報の受領者が受領者自身の目的に個人情報を利用する場合、個人情報を受領者と共有することがデータの収集目的と一致し、関連法の下で許可されていることを確認する。

### **安全措置**

秘密情報の区分を考慮し、第三者や別の国 / 地域への転送中および転送後に個人情報を保護するために必要な安全措置と対策を特定する。

### **国際データ転送の合法性**

個人情報を第三者と共有する場合は、国際データ転送の法的要件を遵守する。データのローカライゼーション義務を確認し、それに従う。

## **第13条: 取り扱いの終了**

個人情報が収集された当初の目的、または合理的に関連性のある目的に不要となった場合、そのデータは削除しなければならない。

不要となった個人情報を管理するには、オリンパスプライバシールールに従う。

### **期間の制限と削除**

データ削除スケジュールを実施する。保管義務を考慮したうえで個人情報削除のスケジュールに従い、削除する。削除せず、取り扱い続けたい場合、匿名処理が必要となるが、匿名処理の要件が厳格であることに留意する。

### **取り扱いの制限**

個人情報が保管期間を遵守する目的のみに保管されている場合は、この個人情報が他のいかなる目的にも利用されないことを確保する。

### **廃棄標準**

個人情報を含む媒体（紙、HDD, 記録メディア）を廃棄する際、物理的な破壊に関する業界標準に従う。

### **廃棄の実効性の確保**

個人情報の削除や廃棄をした際、実際に削除、廃棄されたかの確認とその記録を残す。

### **物理的媒体**

個人情報を持ち運び可能なデバイス（紙も含む）に保管する場合は、適切かつ安全な技術（オフィスのシュレッダー、専用ゴミ箱など）を使用して確実に廃棄する。